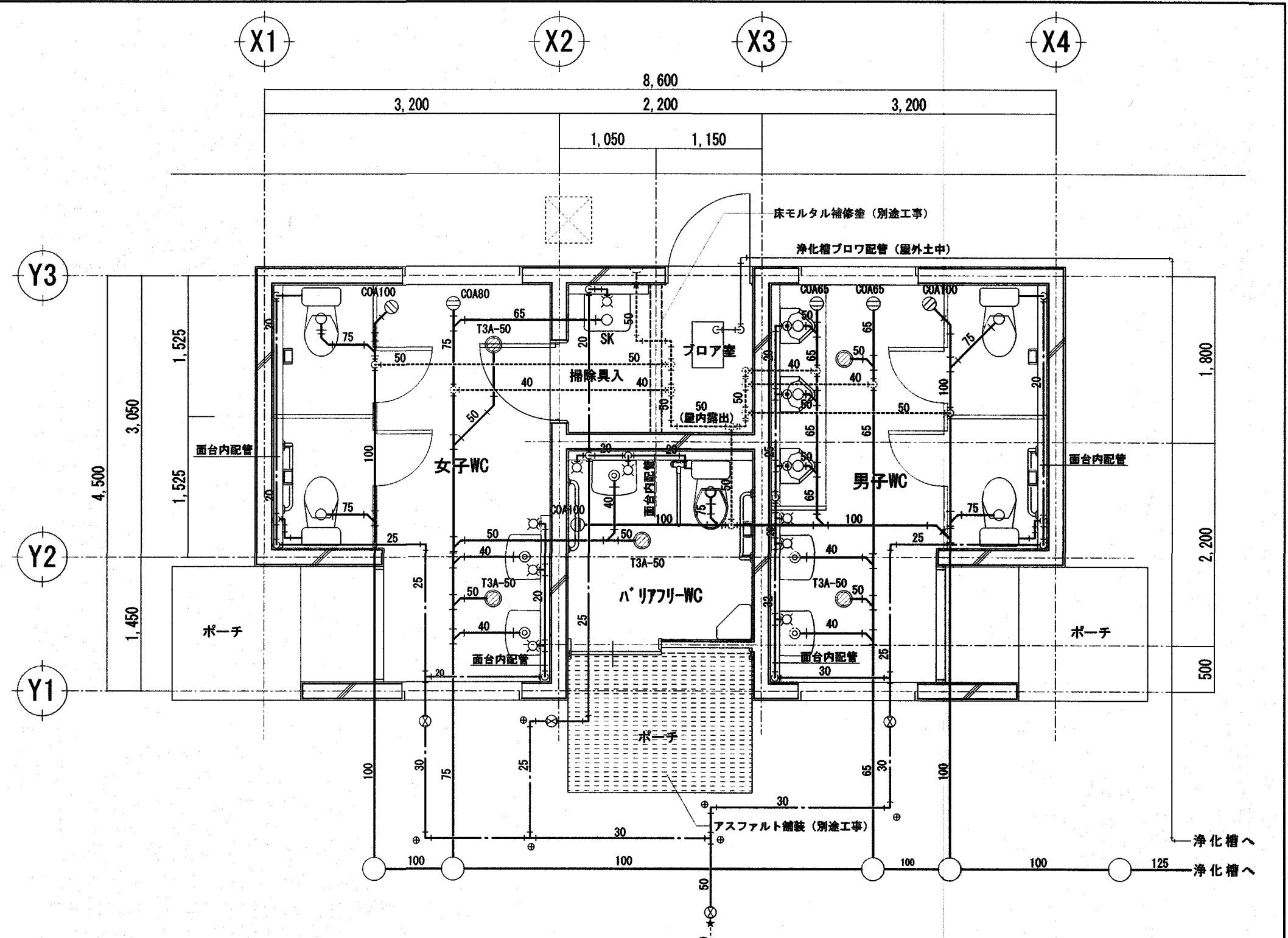


長浜公園トイレ棟改修機械設備工事

図面番号	図面名称	縮尺	備考
M-01	特記仕様書（1）	—	
M-02	特記仕様書（2）	—	
M-03	附近見取り図・屋外配管図（改修前・後）	1／150	
M-04	給排水衛生設備 平面図（改修前・後）	1／50	
M-05	合併浄化槽図（参考）	1／50	

[illegible]

項目		特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																																																																										
機械設備特記事項																																																																																																																																																																
①	欄脚その他	※ 配管表記 a) 機械室・ピット・P・S内・天井点検口・配管分岐場所には必ず表記する。 b) 表記内容は、流体・サイズ・系統名とし、場所・向き・文字サイズ等事前協議決定後に施工する。 c) 配管の識別は、原則としてJIS Z 9102によるものとし、識別方法・色合いは監督職員の指示による。 ※ 機器表記（該当する主要機器は事前に確認する。） a) 設計記号の付いている主要機器には、カッティングシート等にて表記（管理番号・室名・設置年月等）を行う。 b) バックジェアコン等の空調機は、室内機だけでなく室外機にも表記を行う。 c) 水中に設置する各種主要機器類は銘板（製造社名・製造年月・型番・性能等）を壁付近にも貼ける。 ※ 弁には、開閉等を記入したアクリル札を取付け、風で飛んだり騒音を立てないように固定するか、表示方法を協議する。 ※ 埋設弁ボックスには、内部に系統名・管サイズ・設置年月を書いたアクリル札を入れる。 ※ 埋設弁ボックスの蓋は、流体の行き先側に蓋の付根を向ける。 ※ 排水以外の屋外埋設管には、曲がり・分岐部・その他埋設管の位置が確認できるように地中埋設標を設ける。 ※ 排水以外の屋外埋設管の埋戻し時には、GL－150mm程度に埋設表示用アルミテープを埋設する。	11	メカニカル継手	※ メカニカル継手は伸縮可とう・漏脱防止性能を有し、内外面エポキシ粉体塗装を施したものとする。 ※ 改修工事等で鋼管類（ライニング鋼管）を切断して、やむを得ずメカニカル継手を使用する場合には、切断部の防錆処理として、JAWWA K 135規格適合品にて処理する。 ※ 原則として下図に従う。詳細は国土交通省仕様による。 <table><tr><th colspan="2">横張り管の吊り及び振れ止め最大支持間隔</th><th colspan="12">呼び径</th></tr><tr><th rowspan="2">分類</th><th rowspan="2"></th><th>15</th><th>20</th><th>25</th><th>32</th><th>40</th><th>50</th><th>65</th><th>80</th><th>100</th><th>125</th><th>150</th><th>200</th><th>250</th><th>300</th></tr><tr><td colspan="4">鋼管等</td><td colspan="4">2.0m</td><td colspan="6">3.0m</td></tr><tr><th rowspan="3">吊り金物による吊り</th><th colspan="2">ビニル管等</th><td colspan="4">1.0m</td><td colspan="4">2.0m</td><td colspan="5">12m</td></tr><tr><th colspan="2">鋼管等</th><td colspan="4">—</td><td colspan="4">8.0m</td><td colspan="5">12m</td></tr><tr><th colspan="2" rowspan="2">ビニル管等</th><td colspan="4" rowspan="2">—</td><td colspan="4" rowspan="5">6.0m</td><td colspan="5" rowspan="5">8.0m</td></tr><tr><th colspan="16">立て管の固定及び振れ止め箇所</th></tr><tr><th colspan="2">固定</th><th colspan="2">鋼管等</th><td colspan="12">最下階の床又は最上階の床</td></tr><tr><th rowspan="4">形鋼振れ止め支持</th><th rowspan="2"></th><th colspan="2">鋼管等</th><td colspan="12">各階1箇所</td></tr><tr><th colspan="2">ビニル管等</th><td colspan="12">各階1箇所</td></tr></table> ※ 国土交通省仕様どおりにより吊り配管等を施工しても、他の資材配管等と干渉する場合は振止めを適宜設ける。 ※ 屋外等で吊り金物による施工ができない場合には、プラケット等にて配管及び配管付属品を支持し、配管荷重による管の移動を抑える。 ※ 契約水番までの埋設給水管及び埋設ガス管は管の周囲100mm程度に保護砂を入れる。 ※ 契約水番以降の埋設給水管及び埋設消防管は簡易保温筒で巻く。 ※ 排水管は管が移動しないように中心程度まで埋戻す。ただし、土圧及び上載荷重が管きよの耐荷重を超える場合は、遮断用砂で巻いて、外圧に対して管きよを保護する。 管の地中埋設深さは、原則として車両道路では管の上端より600mm以上、それ以外では300mm以上とする。ただし、寒冷地では凍結深度以上とする。 ※ 鋼管、鉛管のコンクリート内配管にはプラスチックテープ1／2重ね1回巻きとする。 ※ 地中に埋設する鋼鉄管・鋼鉄異形管・メカニカル継手・特殊継手類にはポリエチレンスリーブ等の被覆を施すること。 〔給水装置工事施工要領〕	横張り管の吊り及び振れ止め最大支持間隔		呼び径												分類		15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	鋼管等				2.0m				3.0m						吊り金物による吊り	ビニル管等		1.0m				2.0m				12m					鋼管等		—				8.0m				12m					ビニル管等		—				6.0m				8.0m					立て管の固定及び振れ止め箇所																固定		鋼管等		最下階の床又は最上階の床												形鋼振れ止め支持		鋼管等		各階1箇所												ビニル管等		各階1箇所												24	斜	
横張り管の吊り及び振れ止め最大支持間隔		呼び径																																																																																																																																																														
分類		15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300																																																																																																																																																	
		鋼管等				2.0m				3.0m																																																																																																																																																						
吊り金物による吊り	ビニル管等		1.0m				2.0m				12m																																																																																																																																																					
	鋼管等		—				8.0m				12m																																																																																																																																																					
	ビニル管等		—				6.0m				8.0m																																																																																																																																																					
立て管の固定及び振れ止め箇所																																																																																																																																																																
固定		鋼管等		最下階の床又は最上階の床																																																																																																																																																												
形鋼振れ止め支持		鋼管等		各階1箇所																																																																																																																																																												
		ビニル管等		各階1箇所																																																																																																																																																												
	防振施工	※ 機器の振動が建物に影響を及ぼすおそれのあるものは、適切な防振措置を施す。 ※ 電動機等により振動を生じる機器及び配管の固定部にはダブルナットやストッパーボルト等により締め・脱落防止措置を施す。ナットは、アイマークにより締付けが確認できるようにし、ナットに対するボルトの余長は3山以上を標準とする。 〔公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）準拠〕 ※ 床又は壁に設置の機器で重量が大きく重心位置が比較的高い機器については転倒防止措置を施す。 ※ 天吊り機器には暴止用形鋼梁台や斜材を用いる等して落下・傾き防止措置を適切に施す。 ※ 天吊り機器と吊り金物との接続箇所毎に防振装置を設ける。 〔建築設備検査資格者講習テキスト準拠〕 天吊り機器等の施工方法は、「建築物における天井脱落対策に係る技術基準」に適合すること。	25	転倒・落下・傾き防止																																																																																																																																																												
	特定天井への対応																																																																																																																																																															
②	総合調整	本工事に該当する工事項目に応じて、下記項目の総合調整を行い、計画書及び報告書を監督職員に提出する。 a) 風量調整 b) 水量・水圧調整 c) 室内外空気の温度差の測定 d) 騒音の測定 e) 室内気流及びじんあいの測定 f) 飲料水の品質の測定 なお、季節により運転条件が異なる、使用開始から定常状態に入るまでに時間を要する等の理由により、工期内の測定完了が不可能な調整項目の対応については、監督職員との協議による。 工事工程に該当する工事項目に応じて、下記項目の総合調整を行い、計画書及び報告書を監督職員に提出する。 a) 風量調整 b) 水量・水圧調整 c) 室内外空気の温度差の測定 d) 騒音の測定 e) 室内気流及びじんあいの測定 f) 飲料水の品質の測定 なお、季節により運転条件が異なる、使用開始から定常状態に入るまでに時間を要する等の理由により、工期内の測定完了が不可能な調整項目の対応については、監督職員との協議による。	13	埋設管の保護																																																																																																																																																												
	配管材料	<table><tr><th colspan="2">配管の種類</th><th>場所</th><th>屋内露出</th><th>天井・P・S内</th><th>床下暗渠内</th><th>屋外露出</th><th>屋外埋設</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="2">給水</td><td rowspan="2">給水</td><td>(3)</td><td>(3)</td><td>(1)</td><td>(2)</td><td>(3)</td><td>(16)</td><td>(15)</td></tr><tr><td>(22)</td><td>(22)</td><td>(1)</td><td>(22)</td><td>(22)</td><td>(15)</td><td>(15)</td></tr><tr><td rowspan="2">給湯</td><td rowspan="2">給湯</td><td>(3)</td><td>(3)</td><td>(1)</td><td>(2)</td><td>(3)</td><td>(17)</td><td>(17)</td></tr><tr><td>(16)</td><td>(16)</td><td>(16)</td><td>(16)</td><td>(16)</td><td>(19)</td><td>(19)</td></tr><tr><td rowspan="2">ガス</td><td rowspan="2">ガス</td><td>(20)</td><td>(20)</td><td>(20)</td><td>(20)</td><td>(20)</td><td>(21)</td><td>(21)</td></tr><tr><td>(10)</td><td>(10)</td><td>(10)</td><td>(10)</td><td>(10)</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td rowspan="2">機器ドレン</td><td rowspan="2">機器ドレン</td><td>(23)</td><td>(23)</td><td>(23)</td><td>(23)</td><td>(23)</td><td>(18)</td><td>(18)</td></tr><tr><td>(2)</td><td>(2)</td><td>(2)</td><td>(2)</td><td>(2)</td><td>(18)</td><td>(18)</td></tr><tr><td>冷却水</td><td>冷却水</td><td>(2)</td><td>(2)</td><td>(2)</td></tr></table>	配管の種類		場所	屋内露出	天井・P・S内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設	備考	給水	給水	(3)	(3)	(1)	(2)	(3)	(16)	(15)	(22)	(22)	(1)	(22)	(22)	(15)	(15)	給湯	給湯	(3)	(3)	(1)	(2)	(3)	(17)	(17)	(16)	(16)	(16)	(16)	(16)	(19)	(19)	ガス	ガス	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(21)	(21)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	-	-	機器ドレン	機器ドレン	(23)	(23)	(23)	(23)	(23)	(18)	(18)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(18)	(18)	冷却水	冷却水	(2)	(2)	(2)																																																																																
配管の種類		場所	屋内露出	天井・P・S内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設	備考																																																																																																																																																								
給水	給水	(3)	(3)	(1)	(2)	(3)	(16)	(15)																																																																																																																																																								
		(22)	(22)	(1)	(22)	(22)	(15)	(15)																																																																																																																																																								
給湯	給湯	(3)	(3)	(1)	(2)	(3)	(17)	(17)																																																																																																																																																								
		(16)	(16)	(16)	(16)	(16)	(19)	(19)																																																																																																																																																								
ガス	ガス	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(21)	(21)																																																																																																																																																								
		(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	-	-																																																																																																																																																								
機器ドレン	機器ドレン	(23)	(23)	(23)	(23)	(23)	(18)	(18)																																																																																																																																																								
		(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(18)	(18)																																																																																																																																																								
冷却水	冷却水	(2)	(2)	(2)																																																																																																																																																												



新設			
男子WC			
器具名	数量	品番 (TOTO)	品番 (LIXIL)
腰掛大便器	2	CS597BS, SH5968AYR, TC291	BC-P20SU, DT-PA250UCHTK, CF-39AT
紙巻機	2	YH191L	KF-66R
手すり (L形)	1	T112CL9, T110D3R × 3	KF-920AE70D12J, KF-D16
小便器 (自動洗浄)	3	UFS900R	U-A51AP
洗面器	2	L250D, TL19AR, TLPD2105JA, TL40FU, TL250D	L-178UAN, LF-P02B, LF-3V, LF-105PA, SF-10E, KF-30DN
排水栓 (キ一式)	1	T28AKUH13	LF-35G-13-CV
化粧鏡	2	YK3545FE	KF-35A-4A, C-669-1

新設 バリアフリーWC			
器具名	数量	品番 (TOTO)	品番 (LIXIL)
服掛大便器	1	CS20AB, SH30BA, TC291V86W	BC-220SK, DT-K250, CF-39CK-K, CF-9374
紙巻器	1	YH191L	KF-66R
洗面器	1	L103A, TL19AR, TLPD2206JA, TL4CFU, TL250D	L-365APR, LF-P02B, LF3V252W25, LF-96PA, KF-300N, SF-10E
化粧鏡	1	YM4560FE	KF-4560A, A-669-2
手すり (可動)	1	T112H8R, T110D49R, T110D51	KF-481EH70J, KF-D19
手すり (L形)	1	T112GL11, T110D3R×3	KF-920AE70D12J, KF-D16×3
手すり (I形)	1	T112G6, T110D3R×2	KF-910AE60J, KF-D16×2
横木柱 (キー式)	1	T28AKUH13	LF-35G-13-CV
ベビーチェア	1	YKA18S, YPH62017W2, T110D28	AC-BK-F62, KF-D17(1P)×3, AC-BC-F31

- ※) 既存配管貫通穴再使用
- ※) ★部分 既存配管接続
- ※) ⊕: 埋設表示鉄を示す。

